

景気動向指数
平成 25 年 10 月分（速報）の概要

10 月の C I（速報値・平成 22 年=100）は、先行指数：109.9、一致指数：109.6、遅行指数：113.1 となった。（注）

先行指数は、前月と比較して 0.7 ポイント上昇し、2 か月連続の上昇となった。3 か月後方移動平均は 0.66 ポイント上昇し、2 か月連続の上昇、7 か月後方移動平均は 0.48 ポイント上昇し、10 か月連続の上昇となった。

一致指数は、前月と比較して 1.2 ポイント上昇し、2 か月連続の上昇となった。3 か月後方移動平均は 0.63 ポイント上昇し、11 か月連続の上昇、7 か月後方移動平均は 0.66 ポイント上昇し、9 か月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して 0.9 ポイント下降し、9 か月ぶりの下降となった。3 か月後方移動平均は保合となり、7 か月後方移動平均は 0.45 ポイント上昇し、13 か月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I 一致指数）は、改善を示している。

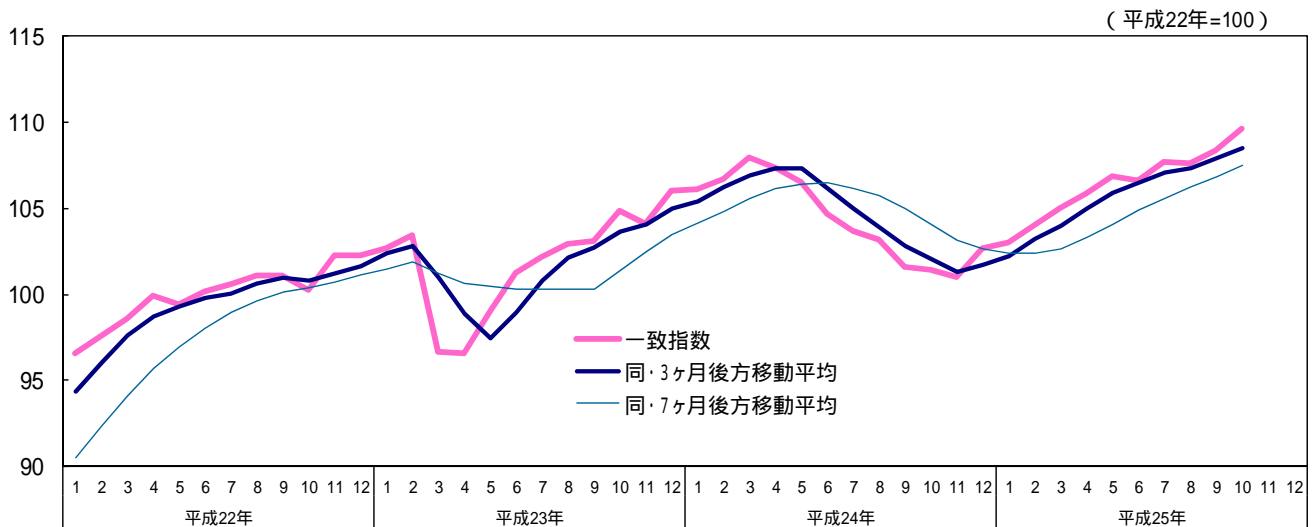
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C3：大口電力使用量	0.48	C10：中小企業出荷指数(製造業)	-0.17
C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	0.48	C5：所定外労働時間指数(調査産業計)	-0.10
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.30	C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	-0.07
C4：耐久消費財出荷指数	0.23	C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	-0.06
C1：生産指数(鉱工業)	0.06		
C2：鉱工業生産財出荷指数	0.06		
C9：営業利益(全産業)	0.04		

「C9 営業利益」は現時点では算出に含まれていないため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



(注) 現時点で得られる値のみで求めた。